

2021年1月度(第381回)ライフサイエンス 分科会

開催日時：2021年1月21日(木) 14:00～16:00

開催場所：Zoom 参加人数：14名

内容：第1部：医中誌アップデート

第2部：SLA アップデート

第3部：2021年のINFOPROに向けた検討

1.内容

第1部：医中誌アップデート

記入者：NPO 医学中央雑誌刊行会 豊島一平太

2021年夏以降に予定されている医中誌 web のバージョンアップについて紹介した。

・医中誌 web の現況について

総データ件数は14,435,802件、重複を除いたリンク数は4,070,816件となった。

現状のOLD医中誌を検索する際の留意点として、旧仮名遣い、旧字が混在している。

また今後の収載予定と、検索以外の閲覧方法を提供予定。

・新機能紹介① Pubmed 検索

医中誌 web のインターフェースから日本語でPubMedを検索する機能。

外部のAPIと医中誌の辞書データを利用し、日本語のキーワードを英語へ翻訳する。

・新機能紹介② ゆるふわ検索

機械学習型エンジンを利用し、類似度の高い文献を医中誌 web のデータから表示する機能。

・新デザインの紹介

新デザイン UI のデモンストレーションを行った。

・医中誌 web バージョンアップ特設ページの開設

今後、開発状況を以下のURLにて随時提供予定

<https://www.jamas.or.jp/special/ver2021/>

第2部：SLA アップデート

発表者：SLA アジアン・チャプター日本代表 佐藤京子

SLA の 2020 年度の主な動きについて報告した。

1. SLA 年会：SLA2020 は Charlotte, North Carolina (6/6-9,2020) から延期され、更にバーチャル開催に変更

SLA2020：Virtual Interactive Experience：

- ・ ライブセッション：2020年10月14～16日 (10/15 1:00am - 6:00am 日本時間)
- ・ ビデオ視聴：2020年10月5日～10月16日～11月13日

ライブも含め全てのセッション、研修セミナーなど on-demand 視聴可能

2. 会員数・収支：2020年でも会員の減少傾向は続いている

- ・ Dec.31 2019 3,655
- ・ 2020年度財政状況：収入は減っているが、支出も少ない

3. 主な動き：COVID-19 対策

・ SLA はタスクフォース Reopening Libraries Safely を立ち上げ、2020年4月に現 REALM プロジェクトの共同同意書に署名

・ 研修セミナー：既存のセミナーにはパンデミック後に必要なスキル、新しいマインドセット、価値をもたらす方法などを入れて提供

・ アジアン・チャプター：オンラインでの安価な活動、サービスなどはアジアメンバーにはメリットがある。Webinar セミナー開催：無料。Online ミーティング 1月30日開催予定。アジア専門図書館会議 (ICoASL 2021) は韓国ソウル 2021年5月開催を予定している。

- ・ 「パンデミック後の社会に適応したインフォプロを目指して」

第3部：2021年の INFOPRO に向けた検討

・ 7/1 (木)・2 (金) に Web 開催が予定されており、その中で 30分～1時間程度の発表時間が確保される見込み。

・ 無料で使える Google Scholar、J-Global、iyakuSearch などヒット件数を検証する？→裏側で何が実行されているかわからないから難しいか。

・ 無料でもここまでできる、という伝え方にした方がよいのでは。

・ Google Scholar の FAQ を読み込んで掘り下げるとか？

・ 3月の例会時にも引き続き検討する。

2. 次回以降の予定

3月18日 (木)：Cochrane についてワイリー・ジャパン岩崎氏の講演

以上